



地震その時、火

地震だ！ まず、身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、まず身の安全を最優先に行動してください。そして何よりもけがをしないことです。けがをすると、初期消火や救出救護、避難などといった次の行動に移ることが難しくなります。



揺れがおさまったら 火の元を確認

揺れがおさまったら、自分の身の回りの火の元を確認してください。使っていた火などは、始末してください。また、自宅を離れる場合は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めてください。火を出さないことが大切です。



地域の防災訓練

防災訓練



体験して身につける

実際に首都直下地震のような大規模な地震が発生した場合、同時多発する災害や倒壊建物などに道を阻まれるなど、災害の現場に消防隊がすぐに到着できるとは限りません。その時は、地域住民が協力して消火にあたらなければなりません。いざという時、行動できるように、一人でも多くの方が、防災訓練を体験し身につけておくことが、地震による被害の軽減につながります。

また、日頃から、通勤時や散歩の際などを利用して、自分のまちのどこに、どのような防災用具があるかを覚えておくこともとても大切です。

規模は小さくてもできる 防災訓練

学校や大きな広場で行う防災訓練の他に、みなさんが実際に住んでいる街区を訓練場所として「自分の近所で起こったら」をイメージしながら行うご近所同士の訓練も、いざという時に役立ちます。

防災訓練に参加するには

区市町村主催の防災訓練の他に、お住まいの地域の町会や自治会で行う訓練もあります。日程や場所はそれぞれにお問合せください。また防災館（本所・池袋・立川）でも防災体験ができます。

防災訓練に関するご相談は、最寄りの消防署へお問合せください。